

クレア音楽の時間 Vol.2

教えて!モーツァルト

CREAHALL MUSIC HOUR “Tell me about Mozart.”

昨年「教えて!ベートーヴェン」で好評を得た「クレア音楽の時間」の第2弾。

草津ゆかりのピアニスト稲垣聡を講師に、ゲストにソプラノ田島茂代、ヴァイオリニスト高岸卓人を迎え、演奏とトークも交えモーツァルトの魅力を伝えます。

草津ゆかりの演奏家を中心に編成されたクレア・スペシャル・オーケストラも共演!



稲垣 聡
(ピアノ)
Satoshi Inagaki
第28回・平成15年度
滋賀県文化奨励賞
受賞



田島茂代
(ソプラノ)
Shigeyo Tajima
第26回・平成13年度
滋賀県文化奨励賞
受賞



高岸卓人
(ヴァイオリン)
Takuto Takagishi
第40回・平成27年度
滋賀県次世代文化賞
受賞



クレア・スペシャル・
オーケストラ

1時間目

14:00~14:50

「神童」モーツァルト

講師・演奏:稲垣聡(第28回・平成15年度滋賀県文化奨励賞受賞 相愛大学音楽学部教授) サトシ先生がゲストと共に、トークと演奏を交え、神童モーツァルトの秘密に迫ります。

《ヴァイオリニスト高岸卓人を迎えてモーツァルトの室内楽の魅力を》

- 曲目 ♪モーツァルト:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ ト長調 K.301 (293a)
- ♪モーツァルト:アンダンテ ハ短調 K.1a (5歳 最初の作曲といわれる作品)

《ソプラノ田島茂代を迎えてモーツァルトの歌の魅力を》

- 曲目 ♪モーツァルト:すみれ K.476
- ♪モーツァルト:『フィガロの結婚』より「楽しい日々はどこへ Dove Sono」
- ♪モーツァルト:レクイエム 二短調 K.626 より 第8曲 ラクリモーサ(涙の日)

2時間目

15:10~16:00

「モーツァルトの合奏曲・協奏曲の世界へ」 サトシ先生とクレア・スペシャル・オーケストラとの共演!

- 曲目 ♪モーツァルト:ディベルティメント 二長調 K.136
- ♪モーツァルト:ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K.271「ジュノーム」

2021年 12月26日(日)

開演:午後2時(開場:午後1時30分) 草津市立草津クレアホール

〒525-0059 滋賀県草津市野路六丁目15番11号 JR琵琶湖線「南草津駅」より徒歩約10分

入場料(自由席・税込):一般2,000円 18歳未満1,000円 当日各500円増し

※未就学のお子さまはご入場いただけません。※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。

プレイガイド

- 草津アートセンター(草津クレアホール) TEL.077-561-6100
- 草津アマカホール TEL.077-561-2345
- びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ)
- ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード 51941)
- びわ湖芸術文化財団オンラインチケット (<https://www.biwko-arts.or.jp/rd>)

前売り
10/10(日)

主催:公益財団法人草津市コミュニティ事業団、公益財団法人びわ湖芸術文化財団

後援:滋賀県教育委員会、草津市、草津市教育委員会

協力:株式会社しがぎん経済文化センター

《問い合わせ》草津アートセンター(草津クレアホール内) TEL.077-561-6100

この公演は、(公財)草津市コミュニティ事業団と(公財)びわ湖芸術文化財団が協働して実施しています。



滋賀県では、1976年(昭和51年)より毎年、文化の高揚に貢献し顕著な功績のある、もしくは文化の向上発展に寄与し、将来が期待される方々を表彰しています。受賞者の中には、国内外で活躍する演奏家も数多く、まさに滋賀の宝といえます。そのアーティストの皆さまに、地元滋賀においても、意欲的な創造活動を行っていただき、地域との絆を深めることで、「文化で滋賀を元気に!」しようと、2019年度よりスタートしたのが、「滋賀県文化賞・文化奨励賞・次世代文化賞受賞者によるコンサート Celebration」です。

【ご来館される方へのお願い】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下についてご理解、ご協力をお願いします。

- 来館時は必ずマスクを着用してください。●館内に手指消毒用アルコールを設置していますので、入館時に必ずご利用ください。●発熱・体調不良の場合は、来館をお控えください。●客席は、一定の間隔を開けております。お連れ様であっても間隔をあけて着席いただきます。●入場時は、一定の距離を保ってお並びください。開演前、休憩中の会話もお控えください。●チケットは、入場時にご提示いただき、ご自身で切り離して半券をボックスにお入れください。●プログラムなどの配布物は、所定の位置に設置しますのでご自身でお取り下さい。●スタッフは全員マスクを着用し、極力声を出さないようにします。●出演者への面会、プレゼントはお控えください。●万が一、公演後に感染症を発症された方が居られた場合は、公的機関の求めに限り、入場者の名簿を提出します。●感染症予防対策をはじめ、やむを得ない事情により、出演者・曲目、当日の対応に変更が生じる可能性がありますこと予めご了承ください。

稲垣 聡 Satoshi Inagaki (ピアノ) 第28回・平成15年度滋賀県文化奨励賞受賞

草津市出身。パッハから新作初演、またダンス、美術、オペラなど多ジャンルとのコラボレーションにも取り組む多彩なオール・ラウンダー。滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ科卒業。フランス国立リヨン高等音楽院第3課程(大学院課程)修了。1991年平和堂財団芸術奨励賞、東京現代音楽祭室内楽コンクール(競楽I)入賞、1992年第4回宝塚ベガ音楽コンクールピアノ部門第1位・特別賞、2003年滋賀県文化奨励賞受賞。国内各地でのリサイタルなどソロ活動をはじめ、内外のアーティストとの共演やレコーディングなどアンサンブルピアニストとしても活躍している。特に2000年東京文化会館とびわ湖ホールで開催したJ.S.パッハと20世紀作品によるリサイタルや、2003年東京オペラシティ・リサイタルシリーズB→Cでのピアニスト中川賢一とのデュオ・リサイタルは大きな話題となった。近年では、サントリーホール・チェンバー・ミュージックガーデン、びわ湖ホール主催「ベートーヴェン・ピアノソナタ・ツィクルスIX」等に出演。現代音楽の分野においても、これまでにISCM(国際現代音楽協会)、東京の夏、サントリー芸術財団主催のサマー・フェスティバルや作曲家の個展等に出演、また武満徹作曲賞、芥川作曲賞、日本音楽コンクール作曲部門の本選作品など数多くの作品を手掛けており、海外でもパリ、ベルギー、イギリス、ハンガリー、アメリカ、メキシコ、韓国、台湾等に招かれ内外より高い評価を得ている。ソリストとしてこれまで東京響、東京フィル、新日本フィル、桐朋学園オーケストラ等と共演。また、俳優、美術家、舞踊家など様々なジャンルとのコラボレーションも多く、これまでにトーキョーワンダーサイト、第4回アジア舞台芸術祭(台北)、A.A.P.第3回プロウ公演(京都府立府民ホール・アルティ)等に出演。オペラにおいては、地方の創作オペラ制作や音楽スタッフに携わるなど、團伊玖磨「夕鶴」(ハイライト)、G.C.メノッティ「電話」等の舞台監修や、G.フリド:モノ・オペラ「アンネの日記」(演奏会形式舞台上演)、R.v.ヴァンデンベルク:オペラ「出島〜シーボルトの愛」(演奏会形式/世界初演)の演出を行う。今年11月には、音楽生活25周年を迎えるリサイタルシリーズ(3年間全3回)を大阪・東京でスタートする。現在アンサンブル・ノマドのメンバー、相愛大学音楽学部・同大学院音楽研究科教授。



提供:相愛大学

田島 茂代 Shigeyo Tajima (ソプラノ) 第26回・平成13年度滋賀県文化奨励賞受賞

彦根市出身。彦根東高等学校、東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修了。ミュンヘン音楽大学マイスターコース修了。東京藝大の卒業時「松田トシ賞」を受賞。ARDミュンヘン国際コンクールファイナリスト、国内外のコンクールに入賞。平成13年度滋賀県文化奨励賞受賞。びわ湖ホール声楽アンサンブル初代正規メンバーとして活躍。ミュンヘンパッハ合唱団などとヨーロッパでの教会やコンサートで多数共演。モーツァルトのオペラ「魔笛」パミーナ役でデビュー後、デスピーナ、スザンナ役などを演じ、入野義郎作曲オペラ「曾根崎心中」お初役は各メディアでも高く評価され好評を得、ロシア公演の際サンクトペテルスブルク建都300周年記念メダルを授与される。ドイツ歌曲や日本歌曲のリサイタルを滋賀や金沢、東京などで度々開催。レパートリーはバロックから現代曲まで幅広く、様々な様式や役柄に応じた演技や歌唱に定評がある。現在、金沢在住。後進の指導に力を注ぎながら地域のオペラ活動や声楽教室を開催し、声楽の魅力を幅広く伝えるべく活動している。愛知県立芸術大学および石川県立金沢辰巳丘高等学校非常勤講師。二期会会員。



高岸 卓人 Takuto Takagishi (ヴァイオリン) 第40回・平成27年度滋賀県次世代文化賞受賞

彦根市出身。東京藝術大学を卒業後、同大学院修士課程、デン・ハーグ王立音楽院修士課程を修了。第9回大阪国際音楽コンクールエスポアール賞受賞。第62回全日本学生音楽コンクール全国大会入選。東京藝術大学卒業時に同声会賞を受賞。Das Neue Mannheimer Orchesterのメンバーとして、グラウン・コンクールで“Hofkapelle Elbe-Elster” für das Jahr 2019 Prizeを受賞。クフモ室内楽音楽祭、パシフィック・ミュージック・フェスティバル、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭オーケストラアカデミー、EQ:Evolution of the String Quartet 等に参加。彦根エコーオーケストラ、横浜シフォニエッタ、パッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ等の公演に出演している。これまでにヴァイオリンを福田みどり、塩澤まり子、戸澤哲夫、野口千代光、マウロ・イウラート、レオン・シュピーラーの各氏に師事。バロックヴァイオリンを若松夏美、寺神戸亮の各氏に師事。オランダ・パッハ協会の“Young Bach Fellow”として2019-2020シーズンの公演に参加。



クリア・スペシャル・オーケストラ

草津ゆかりの演奏家やクリアホールを拠点に活動する演奏団体のセレクトメンバーにより編成

コンサート・マスター:高岸卓人